



CrimelInfo

CrimelInfoは、刑事司法の正確な情報を提供し
刑事司法の理解を助けるツールを提供します。



<https://crimeinfo.jp>

特定非営利活動法人 **CrimelInfo**

百聞は一見に
しかず。



フォトギャラリー



日本国内では初めて一般市民が刑務所・拘置所などの刑事施設6か所の内部を撮影し、写真に収めました。撮影したのは、東京工芸大学の写真学科の学生。市民活動とは無縁の学生が、刑務所の「いま」を、ありのままに写し出します。

CrimelInfoでは、各地で写真展を開催するとともに、CrimelInfoウェブサイト「フォトギャラリー」にて写真を公開しています。写真展の開催をご希望の団体には写真の貸出も行っています。ぜひお問い合わせください。

撮影施設

- 東日本聖人矯正医療センター
- 東京拘置所
- 黒羽刑務所
- 千葉刑務所
- 栃木刑務所
- 府中刑務所



世論調査で賛成8割とされる「死刑」。しかし、政府は死刑についての情報提供や議論を避けてきています。「望むのは死刑ですか」は、死刑について知ることで一般市民の判断がどう変化するのかを追った映像ドキュメンタリーです。



誰かを「死刑」したいのは、
あなたなのか？

ドキュメンタリー映画

望むのは死刑ですか

考え悩む“世論”

映像ドキュメンタリー



CrimeInfoで「望むのは死刑ですか」を全編無料視聴できます。

学校などの教育機関・各種団体・グループ等でCrimeInfoの申請フォームから申込みいただくと、無料でインターネット上で動画を視聴することができます（DVDの貸出にも応じています）。映画の中で実際に行われた死刑に関する講義もCrimeInfoのウェブサイトで公開しています。

「この国に足りないのは話しあいだ」
山本太郎 参議院議員・俳優

「この国で語られていることこそを、

この国のすべての人は議論しなければならぬ。

共に迷い、共に悩み、そして考え、言葉にし、言葉を聞く。
決して思考停止しないための、意欲的で真摯な映画だ」

雨宮処凛 作家・活動家

「死刑というものを

まじめに本気で考えるきっかけを、

この映画は与えてくれる」

田原総一郎 ジャーナリスト

「操作・誘導されてきた死刑に関する世論という壁に、挑もうとする画期的な試みだ。

私が法相時代に必要性を訴えた

「国民的議論」を先取りするこの試みを見て、あなたなら何を考え、何と応えるだろうか」

平岡秀夫 ●元法務大臣

「映画を観て、

死刑について自分のこととして

考えてほしいと思います」

袴田ひで子 ●冤罪死刑囚の家族



正確な数値 で社会が 見える。



データ・資料



統計

公式な統計や法務省の公開資料をもとに、犯罪にまつわる数値を正確に集計。経年による推移をみることで、社会の変遷をみる事ができる。出典はすべて明記。関係各所（裁判所など）に問い合わせることで初めて得た数値も公表。グラフ作成機能も追加。

掲載している統計データ（例）

- 死刑判決数、死刑執行数
- 審級別死刑判決数
- 無期刑：年末在所受刑者・新受刑者・新規確定人員
- 殺人の罪：起訴人員・不起訴人員・起訴

裁判員裁判で死刑判決が破棄された事例

司法に対する国民の理解の増進とその信頼の向上を期する裁判員制度。裁判員裁判による死刑判決が、裁判官のみで審理される控訴審で破棄されたケースは7件ある（2009年-2023年）。死刑に値するか否かの判断が、第一審とその後でどのように変遷したのか、判決や当時の新聞報道など、公にされている情報からその軌跡をまとめた。判決日、事件番号、裁判所判例へのリンク、民間データベース収録情報なども収録。

死刑確定者リスト

1981年以降に刑が確定した死刑確定者を掲載。判決や新聞記事を出典として、正確なリストを作成。名前や死亡被害者数、キーワードによる検索機能も追加。

掲載しているデータ（例）

- 判決日、事件番号
- 事件や判決の概要
- 裁判所判例へのリンク
- 民間データベース収録情報
- 判決以外の新聞記事情報
- 再審や民事訴訟情報

死刑に関する データ・資料

- 死刑確定者の処遇
- 死刑に関する法令
- 国際人権法と死刑

刑事拘禁に関する データ・資料

- 刑事施設における自殺事故事例
- 被留置者の処遇
- 被留置者の死亡状況
- 無期刑の執行状況及び無期刑受刑者に係る仮釈放の運用状況

その他、随時追加中

文献



知識は力 である。

CrimelInfo 論文&エッセイ集

刑事司法の様々な分野で活躍されている方々が、特別に寄稿した、CrimelInfoだけの論文・エッセイ集です。

- 田鎖麻衣子 (CrimelInfo代表) 「社会的弱者と死刑」
 - 伊東研祐 (慶応大学名誉教授) 「刑法学からみた『死刑』の正統性について」
「『ウィズ・コロナ』現代共生社会における『刑』法の変質－刑法学からみた『死刑』の正統性について (続)」
 - 村岡啓一 (白鷗大学教授) 「日本の刑事司法:平成刑事訴訟法の下での現状評価」
 - 後藤弘子 (千葉大学教授) 「死刑とジェンダー」
 - 平岡秀夫 (元法務大臣) 「法務大臣としての経験から見た死刑存廃問題」
 - 西嶋勝彦 (袴田事件弁護団長) 「冤罪」
 - 入江杏 (「ミシュカの森」主宰・世田谷事件のご遺族) 「刑事司法と被害者遺族」
 - 安形静男 「日本の死刑廃止論者：中江兆民の死刑廃止論」
 - 笹倉香奈 (甲南大学法学部教授) 「アメリカの死刑制度の動向」
 - 大谷恭子 (弁護士) 「そこに生きた人間がいる－死刑事件の弁護経験から伝えたいこと－」
 - 佐藤舞 (モナッシュ大学エリオス・ジャスティス所長 CrimelInfo副代表) 「孤立の中で死を待つ人々：死刑確定者へのアンケート調査結果 から見えてくる日本の死刑制度」
- ※今後も、新しい論文・エッセイを追加する予定。

教材

授業やワークショップなどで活用していただくためにCrimelInfoが教材を作成。参加型学習（アクティブ・ラーニング）でお使いいただける教材冊子を無料で提供。

教材「知らないからこそ話し合おう！」

- series #01 裁判員裁判・死刑制度
- series #02 『刑務所』のこと



OPEN ACCESS 論文

「自由と正義」(日本弁護士連合会)誌上で発表された論文の一部（主に死刑に関するもの）を全文無料で掲載しています。

文献リスト

死刑に関する文献を15のテーマに沿ってピックアップ。

CrimelInfo 翻訳資料

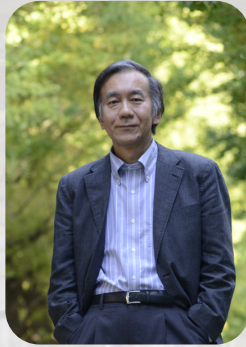
日本の刑事司法制度を考える上でも有益な外国語文献・資料を翻訳し、紹介しています。

- 拘禁された親を持つ子ども－国際基準とガイドライン 原文：QUNO
- 非拘禁措置のための国際連合最低基準規則（東京ルールズ）
- ABA Guidelines: 死刑事件における弁護人の選任及び活動のガイドライン
- 国際連合ウィーン事務所 「Life Imprisonment」

私たちも
応援して
います。

高橋哲哉

(哲学者・東京大学名誉教授)



日本の死刑制度は国際社会から批判の目を向けられています。死刑制度の存廃について共に考えるためには、客観的な情報に基づいて、冷静な議論をすることが何よりも大切です。CrimeInfoの活動を心から応援しています。

辛淑玉 (のりこえねっと共同代表)



私は人を殺して喜ぶ人間にはなりたくない。死刑は復讐の装置ではない。「死刑」制度は被害者のためにあるのでもない。その実態や目的を知らせないことで、国家によるあらゆる殺戮を可能にしていると、私は思う。CrimeInfoの活動は、人間性の奪還なのだ。この活動と共にある人生を送りたい。

笹倉香奈 (甲南大学法学部教授)



死刑や刑事拘禁に関する豊富で正確な情報を提供されているCrimeInfoは、専門家にとっても一般市民にとっても、これからの刑事司法や社会のあり方を考える上でなくてはならないウェブサイトです。

私も日常的に大学の講義やゼミの中で学生にCrimeInfoの統計や資料を紹介するとともに、自分の講演や論文などでも引用するなど大いに利用しています。

死刑に関する情報が乏しい日本において知悉した理性的な議論を行うために、ぜひ皆様も定期的にCrimeInfoをチェックしてください！

浜井浩一 (龍谷大学法学部教授・元法務省職員)



情報は力である。しかし、間違った情報でもネットネット上で拡散してしまえば力を持ってしまう。正しい議論は正しい情報から。そのための情報サイトです。

スタッフ 紹介。



代表 田鎖 麻衣子

東京大学在学中に、刑務所での処遇や死刑制度に関心を持つ。卒業後、2年間の司法修習を経て弁護士登録（第二東京弁護士会）。死刑再審事件や、刑事施設での処遇に対する国家賠償請求事件などに取り組む一方、主に日本弁護士連合会で刑事司法制度に関する委員会活動に従事。一橋大学大学院で博士（法学）の学位を取得。同大特任講師・非常勤講師等を経て、2024年4月より東京経済大学現代法学部教授。主な著作に、『「被害者問題」からみた死刑』（日本評論社、2017）、『孤立する日本の死刑』（現代人文社、2017）、『人権読本』（岩波ジュニア新書、2021）（いずれも共著）、主な訳書に、アンソニー・ルイス『ギデオンのトランペット』（現代人文社、2020）など。



副代表 風間 勇助

Prison Arts Connections代表 / 奈良県立大学地域創造学部講師。東京藝術大学にてアートプロジェクトの実践を通じたアートマネジメントを学び、卒業後は民間シンクタンクにて文化庁委託事業を中心に調査研究に従事。退職後、東京大学大学院文化資源学専攻に進学し、「刑務所とアート」の研究を始める。受刑者や出所者の社会復帰支援に関わりながら、全国の受刑者から作品を募集し展示や対話のイベントを行う「刑務所アート展」を主催する。この社会で埋もれてしまうかもしれない小さな声に、どのように寄り添いこの社会に多様な表現やコミュニケーションを生み出せるか、実践と研究を重ねる。



CrimeInfoの活動を支えるため皆様からの寄付をお願いいたします。

 <https://crimeinfo.jp>

 info@crimeinfo.jp

 [@CrimeInfo](https://twitter.com/CrimeInfo)



三井住友銀行 新宿西口支店 (259)
口座種別: 普通 口座番号: 4509971
特定非営利活動法人CrimeInfo
カナ: トクヒ) クライムインフォ

ゆうちょ銀行 記号番号: 00150-8-421283
〇ー九(ゼロイチキユウ)支店 当座 0421283
特定非営利活動法人CrimeInfo
カナ: トクヒ) クライムインフォ



〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-12-1
サンパレス新宿909

特定非営利活動法人**CrimeInfo**

